

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S18	施策名	地域集会所の利用方法や所有形態の見直し
担当部課	くらし文化部たつせがある課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	1 「やってみよう」でつながるまち
	行政改革指針・重点課題	6 協働事業の拡大
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	無
施策開始の背景、経緯等	集会所を管理している一部の自治会が弱体化してきており、集会所が効率的に使用されていない箇所がある。また地域共生ステーションと利用形態の重複がある。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 地域ごとの実情に合わせた集会所の有効活用を行い、世代間や地域のつながりの強化を図る。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) まちづくり協議会、自治会、地域共生ステーション、集会所
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 世代間や地域のつながり強化

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	地域ごとの実情に合わせた有効活用の検討、地域のつながりの強化を図る。				
		R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		地域ごとの実情に合わせた有効活用の検討。(集会所と他施設の統廃合)	地域ごとの実情に合わせた有効活用の検討。(集会所と他施設の統廃合)	地域ごとの実情に合わせた有効活用の検討。(集会所と他施設の統廃合)	地域ごとの実情に合わせた有効活用の検討。	地域ごとの実情に合わせた有効活用の検討。
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
		特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	下山集会所、打越集会所の利用検討				
		R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		①【下山集会所】 下山集会所・旧下山児童館の統廃合、住民説明。 ②【打越集会所】 打越集会所・老人憩いの家の統廃合の検討。	①【下山集会所】 旧下山児童館を下山集会所として活用する。 ②【打越集会所】 公共施設マネジメント推進作業部会で協議	①下山集会所を解体する。 ②【打越集会所】 公共施設マネジメント推進作業部会で協議(方針)	②【打越集会所】 推進部会で方針決定・実行する。	
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人	(延べ) 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ①【下山集会所】 下山自治会からの集会所建て替え要望に対し、旧下山児童館の跡地利用を提案し、地域と協議を重ね、旧下山児童館を下山集会所として利用することを確認した。令和3年度に下山自治会と集会所の管理契約を締結する予定。 ②【打越集会所】 令和2年に打越集会所と西老人憩いの家の現地確認を財政課、長寿課、たつせがある課で実施した。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) ①【下山集会所】 下山自治会からの集会所建て替え要望に対し、旧下山児童館の跡地利用を提案し、集会所として利用することとなった。 ②【打越集会所】 地域の意向を確認し、公共施設マネジメント推進部会で協議要。
------	--------	--

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) ①【下山集会所】 評価 旧下山児童館の跡地を集会所として活用することができる見処があった。 【全体】 ・使用頻度が少ない地域もある。 ・地域共生ステーションと利用形態の重複がある。 ・管理運営母体である自治会の弱体化
----	-------	--

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 効率的に使用し、使用頻度を高めることで、集会所の活用を通じて世代間や地域のつながりの強化が図られる。
-------	------------------	---

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) まちづくり協議会ははじめ、市民が主体となり、地域ごとの実情に合わせた有効活用を協議していく支援を行う。
----	------------	---

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	・老人憩いの家など他施設との統廃合や、幅広い市民が利用できるように見直すなど、検討を進めてください。 ・地域ごとの実情に合わせた有効活用を図り、世代間や地域のつながりの強化に資するよう取り組んでください。 ・行政改革の重要課題事業第2弾で示したスケジュールに基づき、「有効活用の検討、手順書の作成、方針決定」を行ってください。
内部意見への回答		